

健康と光線

呼吸器感染症

高齢者は呼吸器感染症に罹りやすく、時に命取りになりかねませんが、これには加齢に伴う免疫力の低下が引き金となる感染症に対する抵抗力の減退が深く関わっています。

肺炎は抗生剤で容易に治ると思われているかも知れませんが、実は日本人の死因の第四位(10%弱)は肺炎で、免疫力が低下している65歳以上の高齢者の老人性肺炎が9割を占めています。老人性肺炎で重視されているのは、高齢になると咳反射が低下するため、口腔内常在菌最も頻度が高いのは肺炎球菌(が唾液と一緒に少量ずつ気管から気管支に入り、不顕性誤嚥性肺炎と呼ばれる細菌性肺炎を起こす

ことですが、抗生剤は効かずに死に至るのです。冬季に流行するインフルエンザは、あらゆる年齢層で感染発病しますが、高齢者はインフルエンザ肺炎に罹りやすく、罹ると死に至る恐ろしい病気になります。

現今、高病原性トリインフルエンザウイルスがヒト型に変異した新型インフルエンザによるパンデミック(爆発的流行)が危惧されていますが、高齢者を中心に死に至る人が激増する恐れがあるからです。

結核は抗結核薬の治療で減少の一途をたどっていましたが、99年に38年ぶりに増加に転じました。これには結核に感染した

高齢者の呼吸器感染症

—死につながる免疫力の低下—

けど免疫力で押さえ込んでいた人が高齢化して、免疫力が落ちて発病した患者が約60%を占めています。加えて検出された結核菌は薬が効かない多剤耐性菌

サナモア光線協会 サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

になっている例もあり、厚生省は99年に結核を再興感染症として非常事態宣言を出しました。

サナモアで

免疫力の強化

呼吸器感染症の治療に免疫力は大きく関わっています。免疫

には自然免疫と獲得免疫がありますが、高齢者の免疫力の低下は著しく、一般的に20代をピークに70代では半分以下と言われている、そのため免疫力の低下を防ぐ方策がさまざまな角度から論じられています。

サナモアは、この免疫力を強化します。自然免疫は病原微生物に即座に攻撃を仕掛ける免疫系ですが、白血球の好中球の食菌作用、リンパ球のNK細胞がウイルス感染細胞を食作用により除去する作用などを含めてさまざまな極めて

重要な防御作用を営んでいます。サナモアの赤外線は温熱作用で生成される熱ショック蛋白質によつてこの自然免疫が高められることが明らかにされています。獲得免疫は病原微生物を抗原として認識し抗体を生成する免疫系ですが、紫外線で生成されるビタ

ミンDが獲得免疫を促すマクロファージやリンパ球(T細胞、B細胞、NK細胞)の細胞分化を誘導して活性化し、また免疫担当細胞が情報交換をして役割に応じて働くのを妨げるカルシウムパラドックスを予防するなど、サナモアは獲得免疫の免疫力を強化します。

夏、日光浴をする、冬、風邪インフルエンザを引かない、と言い伝えられています。サナモアを日常の習慣にすれば、免疫力を高めて自然治癒力を向上させますから、呼吸器感染症に罹りにくくなり、罹っても病状を緩和し、治癒に至る経過を短縮することが期待できるのです。(四面・自然治癒力の要は免疫応答を参照してください。)

迎春

平成二十一年 元旦

(株)東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

(五日より営業します)

一病息災

一病息災

蕁 麻 疹

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

蕁麻疹は日常的によく見られる疾患で、一過性に経過するかゆみを伴った限局性の皮膚浮腫と定義づけられます。ある日、急に、境界明瞭な円形から地図状に隆起したかゆみを伴う膨疹がで驚いた経験をされたことがある方もいると思いますが、そのような蕁麻疹発作が一回あるいはせいぜい数日で終わるものを急性型、一か月以上にわたって反復するものを慢性型と分け

症 例：40歳、男性。

主 訴：全身に広がる地図状の膨隆した紅斑。かゆみ。

起始・経過：仕事が忙しく、食生活が不規則で、外食中心となっていたが、ある日突然、下腿にかゆみを伴う紅斑が出現。徐々に、体幹部にまで広がったため、サナモアで治療を希望され来院。

治 療：側臥位にて、全身照射。

腹部(BD)、上背部(BD)、腰部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)を45分照射。

経 過：治療院での全身照射と並行して自宅での光線治療も開始。5回の治療前後から、湿疹は明らかに改善傾向となり、かゆみも軽減。約10回の治療で、上下肢の一部に残す程度にまで回復した。

て考えます。

蕁麻疹の発症は、何らかの機序により、皮膚マスト細胞が活性化され、ヒスタミンなどの活性物質が皮膚組織内に放出されることにより、皮膚微小血管の拡張(紅斑)と血漿成分の漏出(膨疹)が起こり、知覚神経が刺激されてかゆみを生じることによって説明されます。このマスト細胞の活性化については、直接的誘因がある場合と、自然発生的に起こる場合とに分けられます。直接的誘因には、外来抗原、物

理的刺激、コリン作動性神経による発汗、薬物や食物成分による刺激などが挙げられますが、様々なケースにおいて、ストレスや感染などが増悪因子となっていることが多いようです。このようにマスト細胞が蕁麻疹を引き起こすことから、邪魔な細胞と考えられがちですが、生体内においては、生体防御の一役を担う交番のような存在で、炎症後の組織修復にも関与する貴重な存在であることを忘れてはいけません。

次に蕁麻疹の頻度を病型から見ると、特発性が圧倒的に多く、約7割を占め、これに、物理性、コリン性、アレルギー性、非アレルギー性が続きます。物理性蕁麻疹は、機械的刺激や温熱刺激で誘発され、コリン性蕁麻疹は、精神的緊張が負荷された時に生じ、運動、入浴により誘発されるタイプです。またアレルギー性蕁麻疹は、食事・虫咬類、蕎麦(蕎麦)や薬物などの外来物質を摂取することによって起こりますが、

サバやマグロに含まれるヒスタジンからヒスタミンが合成されて発症する病型は、非アレルギー性蕁麻疹に分類されます。

病気と光線療法

サナモア光線療法は、蕁麻疹に対し極めて有効な治療法と言えます。急性型の蕁麻疹の多くは、数回の治療で改善しますが、慢性型で、特に長期化した場合には、一か月以上の治療期間を要することもあります。この間、特にかゆみの強い部位には、かゆみを抑える効果の高いCカーボンを使用することが有効です。BとCの組み合わせで試してみてください。

なお、一般的には下記のような蕁麻疹の増悪因子が知られていますので、避けるように心がけましょう。感染、疲労、ストレス、食物中防腐剤、人工色素、食物中ヒスタミン(サバ、マグロ、薬剤消炎鎮痛剤、造影剤)など。

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.36 宇都宮 正範

第十四期 サナモア光線治療師 養成講座のお知らせ

明けましておめでとござい
ます。サナモア光線治療院も、
開院から九年目に入りますが、
今年も誠心誠意、皆様のお役に
立てるよう、頑張る所存でおり

ますので、よろしくお願い申し
上げます。

また本年も、昨年と同様、サ
ナモア光線協会の中心的事業で
ありますサナモア光線治療師
養成講座を、七月に開講する予
定でありますので、光線治療院
の開業をご検討されている方
やサナモア光線療法について勉
強したいとお考えの方は、サナ
モア光線治療院(〇三―五七五
九―三七一〇)までご連絡下さ
い。なお、日程等の詳細につき
ましては、次号に掲載させて頂
きます。

第三十回 「光と熱研究会」 のお知らせ

医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般
のご愛用者の方も是非ご参加下
さい。なお参加は無料です。

日時：四月十八日(土)

午後二時三〇分

場所：サナモア光線治療院

三階会議室

治療院&

治療師紹介

このコーナーでは、光線治療
院を開業され御活躍中の先生方
や、光線治療師の資格を取得さ
れ、光線療法の啓蒙・普及活動
に携わっている先生方をご紹介
させて頂いております。

根本中医整体院

(平成十三年十月十五日開院)

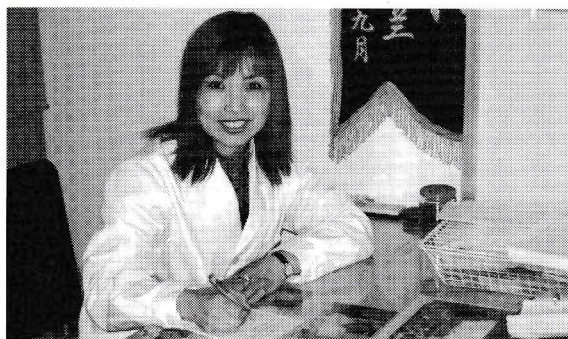
根本 春子先生

電話：〇四八―六八八―六六八二

住所：埼玉県さいたま市見沼区

深作三―二二―一八

交通：宇都宮線東大宮駅東口か
らアーバンみらい行きバス乗車
深作中バス停下車徒歩2分(焼
き肉炭やの裏)



根本 春子先生

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

〒153-0063

東京都目黒区目黒 1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

一言：サナモア光線との出会い
を大変うれしく思います。自分
がこれまでに培った経験や治療
例を通じて、多くの方に光線療
法の素晴らしさを知っていただ
くよう、精一杯頑張りたいと思
います。



自然治癒力の要は 免疫応答

医学博士 宇都宮 光明

生命に固有の 自然治癒力

生命には自己の身体に起きたあらゆる事象を即座に診断し、治癒を促す自然治癒力が備わっています。例示すれば、外傷は神経系が即座に診断して自己に知らせると同時に、患部に炎症反応を起こし、免疫力が働いて

感染を防いで治癒します。癌にならないのは、細胞が発癌遺伝子細胞に変異したことを免疫監視機構がキャッチして、傷ついた遺伝子を修復するか細胞ごと除去するからです。すなわち自然治癒力の中核的な位置にあるのが免疫ですが、免疫機能はさまざまな要因によってシーソーのように上下に変動することが明らかにされています。

免疫力とは

免疫応答

免疫は先天的にすべての多細胞生物に備わっている非特異的な自然免疫と、進化した脊椎動物だけが後天的に獲得した抗原抗体反応による特異的な獲得免疫に分けられますが、免疫を担当する細胞間で情報交換を行い、あるいは神経系や内分泌系とネットワークを形成して、疫を免れるように生体を防御しています。免疫でよく知られている感染抵抗性、換言すれば細菌やウイルスと闘うには免疫力を高めなければなりません。一方、獲得免疫が抗原に過剰に反応するアレルギー疾患では逆に免疫抑制が、

また難病とされる慢性病が多く含まれる自己免疫疾患では抗原になつてはならない自己の組織を抗原として認識して抗体を生成するので免疫を調整抑制することが求められます。このように免疫反応が必要な場合には誘発し、逆に過剰な、あるいは異常な場合には抑制する、全く正反対と思われる受け答えをしなければなりません。そのため免疫を免疫応答と呼びます。

サナモアが免疫応答に及ぼす作用

免疫をつかさどる約一兆といわれる多様な免疫細胞は、多能性幹細胞と呼ばれる造血幹細胞から分化しますが、分化した細胞間で情報を交換し、連携して適正に免疫応答する免疫力は、生命に備わった自然治癒力の要です。

自然免疫についてはさまざまな機序が知られていますが、近年になって癌細胞やウイルス感染細胞を食作用により除去するリンパ球のNK細胞による免疫監視機構が明らかにになり、一躍脚光を浴びることになりました。

NK細胞とはNatural(自然)キラー(殺傷力)細胞の略ですが、通常約50億個のNK細胞が常に体中をパトロールして、癌細胞やウイルス感染細胞の監視と殺傷を行う役割を果たしています。

このNK細胞の細胞障害活性がサナモアの透過性に優れた赤外線が誘導されて生成される熱ショック蛋白質によって賦活されることは一面に記載しましたが、熱ショック蛋白質は自然免疫以外にもさまざまな生体防御機構を活性化させる作用があることが明らかにされています。

獲得免疫には細胞性免疫と液性免疫の二つの免疫機序がありますが、マクロファージや樹状細胞が貪食して得た細菌、ウイルス、毒素、花粉、異種蛋白など非自己情報を抗原としてリンパ球のT細胞に伝えます。それに呼応してT細胞が特異的抗原に反応する抗体になり、直接抗原を攻撃するキラーT細胞(細胞障害性T細胞)に分化して抗原障害性に働くのが細胞性免疫です。これに対し、T細胞がT細胞から分化したヘルパーT細胞

胞を介してB細胞に抗原情報を伝え、B細胞が分化した形質細胞が抗原に対する免疫グロブリン抗体を特異的に産生するのが液性免疫ですが、免疫グロブリン抗体生成が過剰にならないようにT細胞が分化したサプレッサーT細胞の干渉を受けて抑制されます。このように獲得免疫の免疫応答では、細胞の分化を誘導し、分化した細胞が機能することが求められますが、サナモアの紫外線が生成するビタミンDは免疫細胞のビタミンD受容体を受け皿にして細胞分化を誘導し、カルシウム代謝を調節して細胞が正常に機能するのを妨げるカルシウムパラドックスを防いで、免疫応答が適正に運ばれるのを助けるように作用することが明らかにされています。

サナモアは感染症だけでなく、アレルギー疾患、自己免疫疾患の治療にご利用いただいております。サナモアはご愛用いただいている方々の身体に問い掛けて、免疫応答を適正に調整し、最大限の免疫力、換言すれば自然治癒力が手に入ると信じて活用して下さることを願っています。

一般演題

慢性腎不全の
施療経験

社団法人 神奈川県療術師会

海渡一二三

目的

患者は糖尿病性腎症に起因する慢性腎不全と診断され、人工透析以外に治療法はないと言われたが、透析を先延ばしにしたいと知人に紹介された光線療法に望みを託して、平成15年5月20日に来所された。演者は安請け合いは出来ないが、先延ばしにする努力を一緒にすることを中心として光線療法を行った。

症例

「患者」64歳 女性 主婦

「主訴」人工透析を先延ばしにしたい。

「既往歴」今回、病院で診断を受けるまで糖尿病に気付いていない。

「現病歴」透析のための内シャント形成術を終えていたので、患者に透析を受けながら光線療法をする話をしたが、光線療法に賭けたいと希望したので経過を追うことにした。

「初診時所見」顔色は青黒く、皮膚は乾燥し、全身倦怠感があり、一年三ヶ月ほど前から便秘があり、尿の出が悪く、むくむと訴えていた。

療法ならびに経過

光線療法は治療器四台で四灯照射を毎日行った。カーボンはBDで二年間、その後は体調を診ながらAAやABで治療した。日々、側臥位で目を閉じて顔に15分、胸15分、腰と臀部30分、膝と足首15分照射してから、腹と足裏30分、後頭部と膝裏15分照射し、次に仰臥位で右胸部、

左横腹、右横膝、左横足首に各15分、次いで左胸部、右横腹、

左横膝、右横足首に各15分照射したが、希望する箇所には追加して照射した。なお食事は蛋白質を制限した高カロリー減塩食、水分は十分に摂るように話した。

治療を始めてから至って元氣になり、水分の摂取量を増やしたため多尿になったが排尿はスムーズで、むくみはなく、便秘は改善し、患者によれば病院の先生方が不思議がついている、という状態まで改善した。しかし治療を始めて2年半が経過した平成17年11月に、医師から透析の先延ばしは限界と告げられ、やむなく透析を受けることになった。

考案ならびに結語

糖尿病性腎症に起因した慢性腎不全で透析を勧められたが、病院を受診しながら光線療法を行い、結果的に約2年半透析を先延ばしにすることが出来た。この間、水分の摂取量を増やしたため多尿になったが浮腫を起

こすことなく経過したのは、光線療法の発汗、利尿作用が役に立ったと考えている。なお患者は透析を始めてからも、透析の

ない日は演者の治療院で、透析の日は自宅で光線療法を続けているが、経過は極めて順調である。

「はつらつさん」ご愛用者にも安全対策のお願い

平素は「サナモア」をご愛用いただきありがとうございます。

さて「サナモア」をお使いいただく際、取扱説明書の注意事項を参考にして安全管理にはご注意ください。

とありますが、火災、火傷には特段のご注意をお願いいたします。

ところで平成17年4月に薬

事法が改正され、医療機器の安全性の向上と市販後の安全

性の管理が厳しく求められま

した。これを受けて「はつら

つさん」の製造元の(株)イビ

ンケミカルと発売元の弊社が

安全性を高める観点からさま

ざまな検討を行い、対策を協

議して参りましたが、安全に
(株)東京光線療法研究所
代表取締役 宇都宮光明

ご使用いただくため、次の二点について自主的に対応することになりました。

①照射器前面の網の網目を細かくする。

②照射期を水平から下方に向かないようにする。

「はつらつさん」の改良にご協力いただける場合、弊社にお知らせくだされば、作業手順書に併せて交換部品を無償でお送りします。尚、あくまでも自主的な対応で強制するものではなく、また(株)イビ

ンケミカルに修理依頼した

時にも対応できることを申し

添えます。

治
験
例
報
告

糖尿病性網膜症をサナモアで治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 078-133-1358

症例 55歳 男性 会社員
症状 糖尿病を発症してから約五年が経過した頃、職場の健診で、眼底の精密検査が必要と言われ、眼科医院を受診し、糖尿病性網膜症と診断された。薬物治療とレーザー光凝固治療を数回施行され、症状の進行は食い止められて、定期検査でも安定した状態が続いたが、二年経って、再び眼底出血を起こし視力の低下を認めた。この病気は完治するのは難しいと言われ不安になっていた頃、会社の先輩からサナモアを勧められて来所した。

療法経過 治療はBDカーボンで、両眼(閉眼にて)を集光して20分、後頭部20分、腹部20分、左側腹部20分、右側腹部20分、腰部20分、足裏20分、下腿20分、膝10分をそれぞれ照射した。

治
験
例
報
告

サナモアで手術を勧められた

網膜はく離を治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 092-581-0039
571-1573

症例 68歳 女性
症状 サナモア愛用者。突然、視野の一部に白い幕がかかったような状態となり、視力低下を

きたしたこと、病院を受診したところ、網膜はく離と診断され、放置したら失明する危険があるので手術した方がよい

サナモアカーボンの
類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持たませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株式会社東京光線療法研究所

と説明を受けた。しかし、本人は、あくまでも手術は最後の手段で、サナモアを試してみても遅くないと考えており、照射方法についての質問を頂いた。

療法経過 治療はBDカーボンを使用。集光器を用いて、片眼ずつ30分以上照射してから、眉間20分、後頭部20分、足裏20分の照射を指示。時間に余裕がある時には、腹部、腰部を10分ずつ照射するよう指示した。一か

月後に電話連絡を受けたが、両眼の照射は、毎日一、三時間行っているがそれで良いのかとの質問であったため、気持ちよく照射できているのであれば、長時間照射しても問題ない旨を説明。半年後の連絡では、経過が非常に良く、医師がとても不思議そうな顔をしていたとのこと、大変喜んでいて、今後の再発予防のためにも、毎日10分の治療を続けるよう指示した。

治験例報告

ギラン・バレー症候群の

サナモア治療経験

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL044-7315067

症例 6歳 男児

症状 感冒に引き続き筋力低下を認め、下肢の脱力、歩行障害をきたしたため、病院を受診したところ、ギラン・バレー症候群と診断された。病院の治療を受けて少しは改善したが、母親から、この子は夜寝ている時まぶたを閉じないし、下痢気味で虚弱な点があるのが心配なので、是非、サナモアで元気にしてあげてほしいと依頼された。当院ではこのような患者を三名治療した経験があり、全員回復していたので、サナモアが有効であると確信し治療を開始した。

療法経過 治療は当初Aカーボンを使用し、病状が改善してからABカーボンに変更。四台の治療器を用い、全身照射で行った。側臥位にて、顔面、腰部、

膝を15分照射後、腹部30分、後頭部15分、膝裏15分、足裏30分照射。次に仰臥位として、右側顔面、左側胸部、右側腹部、左側側面を15分照射し、左側顔面、右側胸部、左側腹部、右側側面

15分の照射を施行。開始してから五日目には下痢もなくなり、二十日が経過した頃には、まぶたを閉じた状態で眠るようになった。その後さらに治療を継続したところ、発汗が促進され、神経反射も良くなり、歩行もすっかりとして、眼の焦点が定まるようになった。以後は当院での治療は時々とし、自宅での治療を続け、元氣を取り戻すことに成功した。現在は、36歳の立派な大人になり、会社にも勤めている。

された。

療法経過 当初、両側膝下の腫れと足首の関節の可動制限が著明であったため、整体治療にて柔軟にほぐし、自然な血流を促してから、光線治療を行った。最初に患部を中心とした照射を各々15分施行。①左足関節を内外からはさむように二灯照射と左後頭部照射。②右足関節を内外からはさむように二灯照射。③両足関節前方、両足踵部、後頭部を三灯照射。その後、右側臥位にて、腹部(BD)、腰部(A

B)、膝(AB)、足裏(AC)を35分照射した。治療を開始してから約一年で、五年間飲み続けた鎮痛剤を止めることができ、一年八か月が経過した現在では、ゴルフのコースに出られるまで回復し、大変喜んでる。

参考 CRPSは、手関節等の外傷後に、同部の腫れが長期に持続し、自分の思うように動かせなくなり、痛みや知覚の異常を伴うこともある症候群で、病態に関してはまだ不明な点が多い。

治験例報告

複合性局所疼痛症候群(CRPS)

に対するサナモアの効果

武蔵野市 カワグチ光線治療院

川口 一憲氏報告

TEL044-31313990

症例 58歳 女性 主婦

症状 五年前にダンスで右足首を捻挫したことがきっかけで、慢性的な疼痛と腫れが続き、両足首ともに固まったような状態で、運動機能が著しく低下した。

病院ではCRPSと診断され、漢方、鍼など様々な治療を試みたが、いずれも効果がなく、医師からは完治の可能性は極めて低いと告げられ、あきらめの心境でいた時に知人の紹介で来院

全自動光線治療器

はつらつさんと

ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまし

た。この点を改良したのが全自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、カーボンの消耗に合わせてジョイントでできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

*

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

サナモア光線療法 体験記

サナモアはわが家の

医学博士です

秋田市 伊藤 清二様

サナモアのお世話になり始めてから、もう50年近くになります。長男が子供の頃、外で遊んでいて怪我をすると、「光線」「光線」と言いながら家に駆け込んできたことを、今でもはっきりと覚えています。今はその長男の子供(私の孫)が、風邪をひいて熱を出したり、お腹をこわしたりすると、すぐにサナモ

アで治療してあげて良くなりま
す。すると孫は私に「おじいちゃ
ん、光線のある家は幸せだね」
と言って、サナモアに感謝して
いるようです。まるで、サナモ
アはわが家にとっては医学博士
のようです。これまで、私の親
戚や友人達にも勧めて利用して
もらってききましたが、みんな大
変喜んで使っています。これか
ら、末永く、サナモアを続け
ていきたいと思っています。

脊柱管狭窄症が

サナモアで改善しました

茨城県 吉田 千枝子様

私の家にも約十年前に購入し
たサナモア光線治療器がありま
すが、本当にすばらしい治療器
で重宝しています。早速ですが
私の最近の体験を報告します。
約二か月前、突然腰が痛くなっ
て歩けなくなったため、近くの
病院に行ったところ、脊柱管狭
窄症と診断されて手術を要する

状態と説明されました。この時、
車椅子生活となる可能性もある
と言われたため、息子と相談し
インターネットで調べたところ、
整体はどうかと考え、五回ほど
通いましたが、そこで、サナモ
ア光線療法を受けたところ、嘘
のように、痛みが消失し、歩け
るようになりました。本当にす
ばらしい治療器です。これから
も自宅で治療を続けるつもりで
います。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験し
ないと信じられないところ
がありますが、実際に効果
を体験した体験記ほど説得
力のあるものではありません。
ついでに体験記をお送りく
ださいますよう、お願いい
たします。
なお掲載させて頂いた方
には、薄謝を贈呈致します。



サナモア光線協会
趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康
を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力
を高めて病気の予防、治療に効果がある
との観点に立ち、太陽光線に近似したフル
スペクトル光線を放射するサナモア光線療
法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民
の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法
に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三―五二八―
三七二―五三三―

(本紙の無断転用を禁止します。)